

氷川中の風

文責:校長

中 島 綱 紀

NO. 10

ザ・氷川中（これが、氷川中だ!!）



勉強にスポーツにがんばり、氷川・龍峯町のためにいろんなことをやってくれた3年生から伝統を引き継ぐ1・2年生たちにあえてプレッシャーを与えました。勢いがありたくさんの人たちが支えてくれている今、現状に満足せず、さらに、「さすが、氷川中。」と誰にも認めてもらえる学校をつくろう!!と。そのためには、日々の生活の中で当たり前のことを当たり前にやっていく氷川中生徒であろう!!とも話しました。そんな生徒を見守り、鍛えて伸ばすのが『チーム氷川中教職員と地域の大人たち』です。生徒たちからは、「げっ、まだ鍛えられるのか。」というため息がちょっとだけ聞こえてきました。しかし、まだまだ伸びる氷川中生徒です。一人一人が持っている能力や魅力をもっと引き出してあげたいと先生たちは思っています。だから、まだまだ鍛えます。

H29年度氷川中を引っ張る、生徒会



新しい生徒会長が決まりました。廣松愛理さんです。氷川中生徒会には、自分たちが先に立って行動し、校訓「洗心・奉仕・鍛錬」を実践していくという伝統があります。また、こまっている仲間を支え、がんばっている友を応援する氷川中生徒であるという『氷川中プライド』も持っています。さあ、この生徒会が引っ張る氷川中生徒たちが今年も町を舞台に駆けます。どこかでだらけていたら激励ください。「おい、氷川中の生徒、もっとしゃっきっとせんか!!」

と。がんばっていたらしっかりほめてください。「いいぞ、氷川中の生徒!!」と。

担任がみつめる先には・・・

12月21日に合唱コンクールを行いました。3年生にとっては学級で取り組む最後の協働です。練習の中で衝突することもありましたが、互いの良さにも改めて気づきました。この日、生徒たちは心をつちにして、3年間の思い出を歌詞にのせてとても丁寧に歌います。そして、すこし離れた場所で生徒たちをみつめる担任がいます。一人一人との思い出を振り返っている担任の横顔は微笑んでいますが、少しだけ寂しそうでした。もうすぐやって来る別れの日までの短さをかみしめながら、心の中でエールを送っているのでしょう。3月11日(土)、53人の3年生が氷川中を卒業します。

